

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和5年12月28日

公表:令和 6年 1月 23日

事業所名 チャイルドウィツシュ刈谷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		空間スペースに限りがあるため、簡易的なパーティションで部屋を分けて、部屋を有効的に使用する。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	保育士、理学療法士を加配している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	事業所は3階であるが、階段に手すりが設置されており、室内はバリアフリーである。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	アンケート結果を真摯に受け止め、改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページで公開し、保護者様にURLを送り、共有している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	毎月研修に参加し、様々な知識を得て支援の質の向上に繋げている。また、自己理解を高めるために、周囲に共有をしている。	

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	アセスメントシートを活用し、客観的に分析している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員全員で話し合い計画書を作成し、活動前に職員間での周知を徹底をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	週間あそびを行うことで様々な活動を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	平日は週間あそび、休日・長期休暇は外出やランチ、工作を行っている。 季節に合わせたイベントを多く取り入れている。 公共の娯楽施設、交通機関の利用を通じて社会経験を養っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	集団活動主体であるが、ニーズに合わせた個別活動も取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	出勤後に朝礼を実施し、その日の活動の確認を行なっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	保護者様より送迎時にお伺いしたことやその日のお子様の様子、活動の振り返りをし、共有している。 日々の業務日報の中で気づいた点を取り上げ、今後の課題を共有し、次の支援へ繋げていく。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	職員間での共有をし、改善に向けてより深く考えられるよう努めている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	ミスを少なくするために、ダブルチェックを行いトラブルに繋がらないように心掛けている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6		医療的ケア児の受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	継続した支援ができるように情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	より良い生活や就労となるように、特性を踏まえた支援方法の情報提供をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		コロナ禍の為、現在は行なっていないが、状況に応じて今後機会を設けていく予定である。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	送迎時、その日の様子を保護者様に共有している。 また支援内容をHUGにて写真と共にお伝えしている。 家庭連携加算等を用い、保護者様と一緒に問題解決をする機会を設けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	定期的に保護者会を行い、勉強会を開催している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	運営規定の提示、支援内容の公開、具体的な金額提示を行なっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	家庭連携加算等を用いて、悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言を行なっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	目的に合わせた保護者会やきょうだいの交流会を開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情についての報告書をまとめ、迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	月に1度ちやいど通信を発行し、活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報は、鍵のかかる書庫に保管している。	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	口頭だけでなく、写真を用いて情報伝達を行なっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		コロナ禍の為、現在は行なっていないが、状況に応じて今後機会を設けていく予定である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	各種マニュアルを作成し、更新の度に保護者様に共有している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	半年に一度、地震・火災を想定し訓練を行っている。職員とお子様一緒に避難訓練を実施し、保護者様へのご連絡も行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	定期的にミーティングを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット・事故等あった時は、当日中に職員間で共有し、再発防止に努めている。	